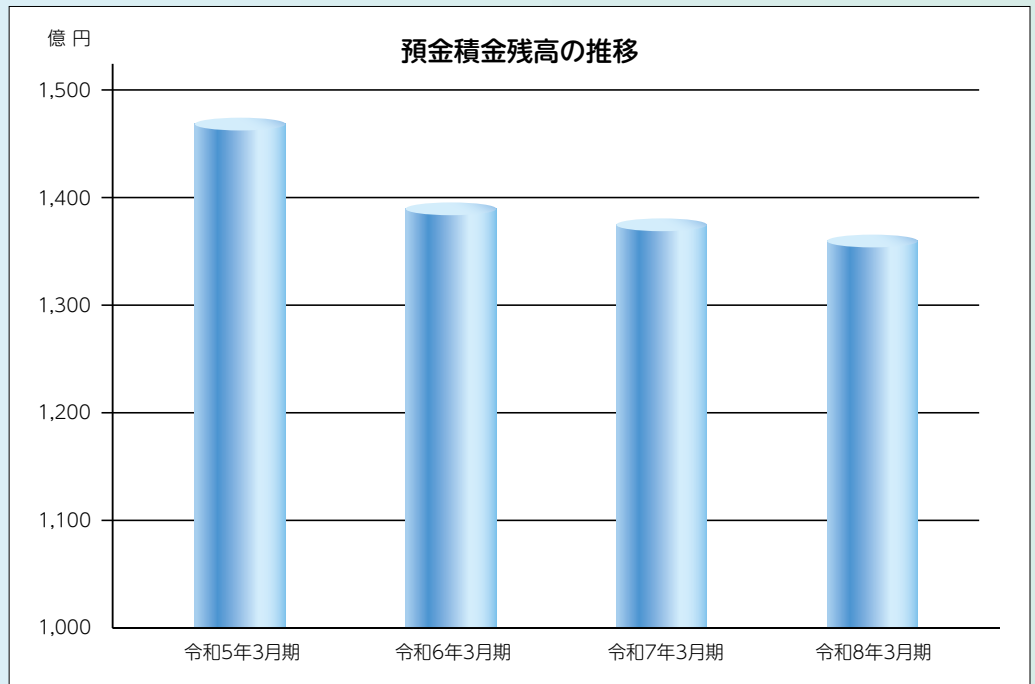


令和7年度の事業概況

令和7年度は第4次経営強化計画の最終年度として、地域の皆様への安定的な金融仲介機能強化と収益性向上に向け役職員が一丸となって取り組んでまいりました。このような中、お取引先様の資金繰り支援に積極的に取り組んだこと等により、貸出金は引き続き増加しました。他方、預金積金については金利上昇に伴う他行との競合等により減少しました。この結果、貸出金利息収入は引き続き増加し、金利上昇を受け余資運用収益も増加したこと等により、預金積金支払利息の増加があったものの資金利益は増加しました。また、ビジネスマッチングや不動産関連の手数料収入等の確保と併せ経費抑制に努めたこと等により、「コア業務純益」は前期比87百万円増加の468百万円となりました。当期純利益は償却債権取立益が増加しましたが、他方貸倒引当金繰入額の増加等の影響により前期比47百万円増加の322百万円となりました。これからもお取引先の皆様への感謝の気持ちを第一に、より一層信頼される金融機関となるべく役職員全員で取り組んでまいります。

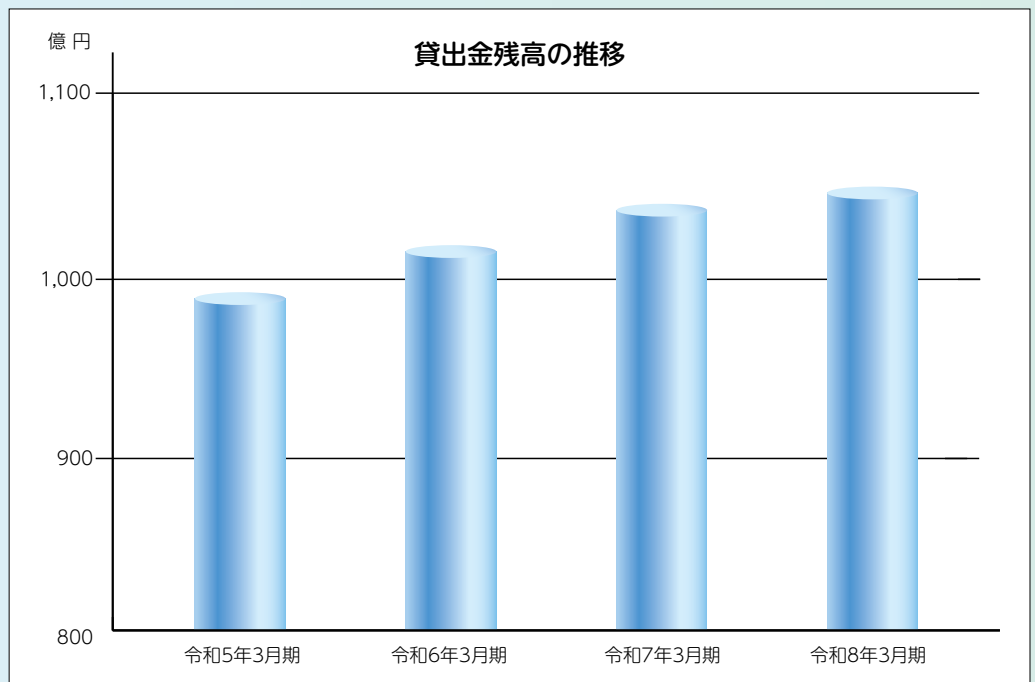
(1) 預金

令和7年度の期末預金残高は、個人定期預金の払戻し等があり、1,360億円と前期末比14億円の減少となりました。



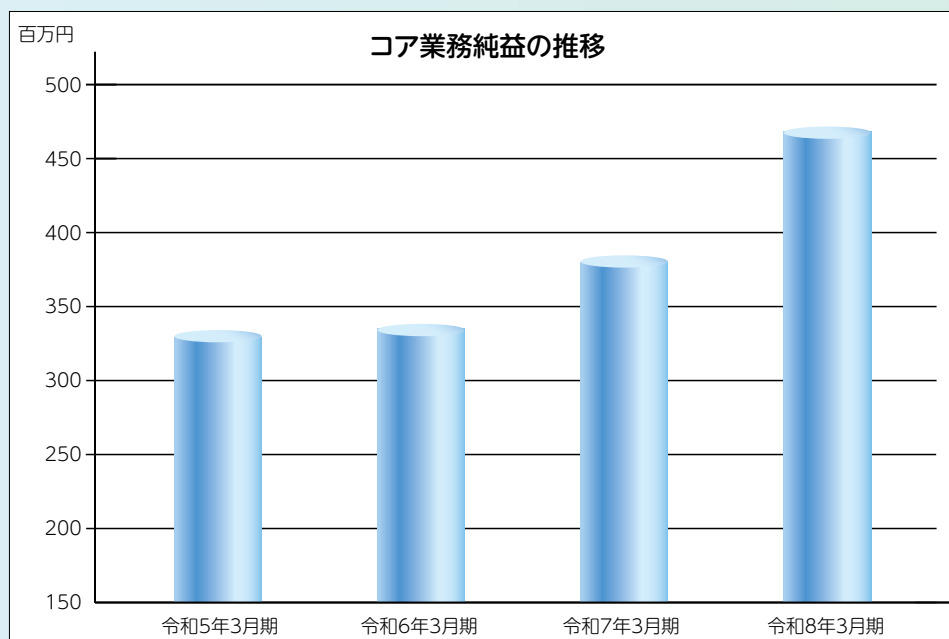
(2) 貸出金

役職員一丸となって、推進活動に努め、貸出金期末残高は、前期末比9億円増加の1,044億円となりました。



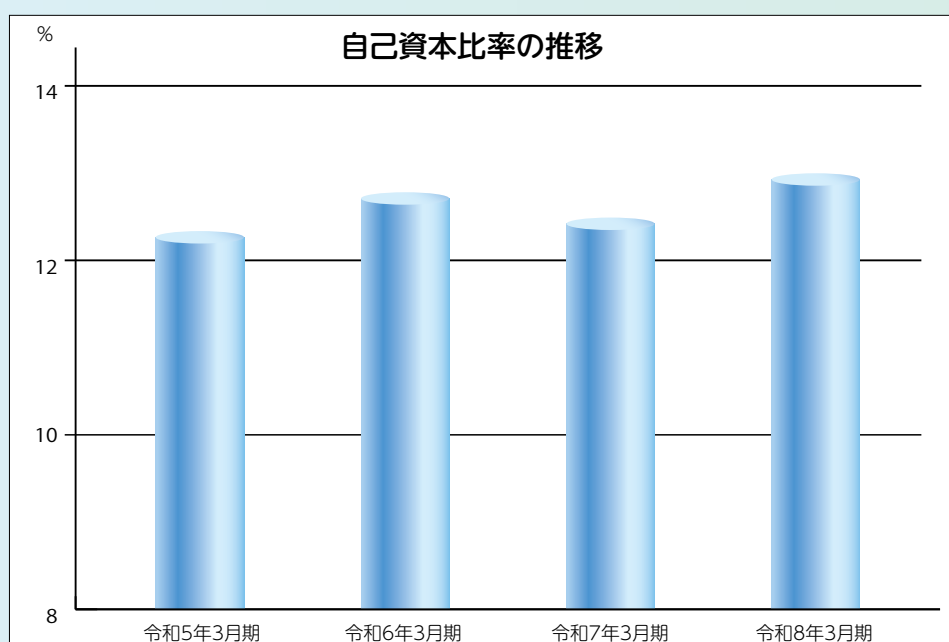
(3)コア業務純益

貸出金・役務収益の増強と経費削減に努めたことより、「コア業務純益」は468百万円を確保することができました。



(4)自己資本比率

平成26年12月に公的資本90億円の注入を受けており、令和8年3月期の自己資本比率は12.93%と、健全性の基準である4%を大幅に上回っております。



主な経営指標の推移

(金額単位：百万円)

	令和5年3月期	令和6年3月期	令和7年3月期	令和8年3月期
預金積金残高	146,951	138,993	137,515	136,062
出資金残高	8,098	8,126	8,130	8,132
貸出金残高	98,522	101,156	103,466	104,430
有価証券残高	18,740	14,889	12,600	10,851
資金利益	1,678	1,677	1,692	1,795
業務純益	328	334	371	472
コア業務純益	329	335	380	468
当期純利益	273	323	275	322
単体自己資本比率(%)	12.26	12.71	12.42	12.93